

※曲目・出演者は変更になる可能性があります。

### メモワール 「Mémoires — 音楽の時空旅行」

2025年のラ・フォル・ジュルネ(LFJ)は、音楽の発展に多大な貢献をした都市とその時代にスポットライトを当てます。

音楽史が、一時期に文化・創造の中心地となった幾つかの大都市を軸に形成されてきたことは、まぎれもない事実です。これら、世界を明るく照らす灯台のような都（みやこ）は、ある時代に天才たちを一挙に惹きつけ、芸術・音楽の要地となり、その輝かしい影響力によって文明の歴史に消えることのない足跡を残しました。

**ヴェネツィア**は、1600年から1750年まで、西洋音楽の発展の中心地でした。この時代にヴェネツィアで生まれた新たな音楽形式の幾つかは、のちの西洋音楽に影響を与えることとなります。

18世紀前半には、経済的繁栄を謳歌した**ロンドン**が、バロック音楽・前古典派音楽の一大中心地となり、ドイツ、イタリア、フランスをはじめとするヨーロッパ各地の音楽家たちを引き寄せました。なかでもドイツ出身の作曲家ヘンデルは、40年にわたりロンドンの音楽シーンを牽引しました。

18世紀半ばに楽都として台頭した**ウィーン**は、ハイドンとモーツァルトが古典派の黄金期を築くと、西洋クラシック音楽の真の拠点となります。古典派からロマン派の時代への転換期には、人生の大半をウィーンで過ごしたベートーヴェンが主役となり、そしてその後もウィーンは20世紀初頭まで百花繚乱の楽壇を誇りました。

19・20世紀の転換期には、世界中の優れたアーティストたちが集結した“光の都”こと**パリ**が、西洋クラシック音楽史の主要な舞台となります。パリ万国博覧会が開かれた際には、ドビュッシーらフランスの作曲家たちはもとより、マーラー、リムスキー＝コルサコフ、といった当時の音楽界のそうそうたる顔ぶれが次々に会場を訪れました。この時代のパリは、とりわけ勉学や演奏／創作活動のために隣国スペインから訪れた音楽家たちにインスピレーションを与えたのです。

いっぽう大西洋の向こうでは、20世紀に**ニューヨーク**が世界の音楽シーンの“震源地”の一つとなりました。今日に至るまで数々のジャズ・ミュージシャンを世界に送り出してきたニューヨークはミュージカル発祥の地でもあり、驚くべき懐の深さで、つねに限りなく多様な音楽スタイルを受け入れてきました。

ルネ・マルタン  
LFJアーティストティック・ディレクター

# LA FOLLE JOURNÉE TOKYO 2025

## <ホールA・C 出演者/プログラム一部速報>

2025.1.14 現在

※曲目・出演者は変更になる可能性があります。

### ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2025 聴きどころ！

#### 【ヴェネツィア】

- ヴィヴァルディの「四季」を多彩なスタイルで！オリヴィエ・シャルリエによる定番四季、フランスの新進気鋭ヴァイオリニスト ルカ・ファウリーシによる世界中の音楽作品を組み込んだオリジナル版四季、そして**渋さ知らズオーケストラ**によるフォルな四季まで、聴き比べ！

#### 【ウィーン】

- リヤ・ペトロヴァ、アレクサンドル・クニャーゼフ、ドミトリー・マスレエフによる、LFJならではのトリオで、ベートーヴェンやシューベルトのピアノ三重奏曲を！
- 稀代のベートーヴェン弾きフランソワ＝フレデリック・ギィによる、ピアノ協奏曲「皇帝」や、ピアノ・ソナタ「月光」 / 「ワルトシュタイン」 / 「熱情」は聴き逃せない。
- 小林愛実がブラームス：ピアノ協奏曲第1番を初披露！東京フィルハーモニー交響楽団と共に。
- 辻彩奈、LFJ初出演の阪田知樹ほか豪華メンバーが贈る、シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」はマスト！

#### 【ロンドン】

- 交響曲の父ハイドンがイギリス訪問時に作曲した名曲交響曲第104番「ロンドン」と、モーツァルト：交響曲第41番「ジュピター」を組み合わせた名曲プログラムも。
- バロック音楽の名手 鈴木秀美が指揮者としてLFJ初登場！横浜シンフォニエッタ&東京混声合唱団とオール・ヘンデルプログラム。「水上の音楽」から「メサイア」まで。

# LA FOLLE JOURNÉE TOKYO 2025

## <ホールA・C 出演者/プログラム一部速報>

2025.1.14 現在

※曲目・出演者は変更になる可能性があります。

### 【パリ】

- ジョシュア・タン率いる神奈川フィルハーモニー管弦楽団による、デュカス：魔法使いの弟子、サン＝サーンス：死の舞踏、ドビュッシー：海など、フレンチ名曲プロ！
- アンサンブル・レザパッシュが初登場！  
ラヴェルに捧げるスキャンダラスなコンサートから、「エッフェル塔の花嫁」と「マンガ・カフェ」をカップリングした独創的なコンサートなど。
- 群馬交響楽団が、注目の若手ギタリスト ラファエル・フィヤートルと名曲「アランフェス協奏曲」を、レミ・ジュニエ と ファリャ：交響的印象「スペインの庭の夜」で共演。
- リオ・クオクマンと東京シティフィルハーモニック管弦楽団によるオール・ラヴェルプロ！福間洸太郎は「左手のためのピアノ協奏曲」を演奏。
- サン＝サーンスのピアノ協奏曲第2番と第5番「エジプト」を、期待のソリスト陣で！
- 林英哲と英哲風雲の会が今年も登場。LFJナント・LFJ東京で大きな話題となった作品「レオナール われに羽賜べ」を披露！パリで活躍した画家藤田嗣治の人生を辿る。

### 【ニューヨーク】

- チャイコフスキー国際コンクール覇者、ドミトリー・マスレエフが初登場！  
角田鋼亮率いるセントラル愛知交響楽団とラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を。
- 今年のファイナル・コンサートは国内外アーティスト豪華競演！  
ガーシュウィン：ピアノ協奏曲へ調をジャズ・ピアニスト山中千尋の演奏で。  
話題のサクソ・カルテットエリプソス四重奏団は、ワクスマン：アルテミスへの夢（管弦楽版）を日本初演！ラブソディ・イン・ブルーはポール・レイトリオによるオリジナル版で。

# LA FOLLE JOURNÉE TOKYO 2025

## <ホールA・C 出演者/プログラム一部速報>

2025.1.14 現在

※曲目・出演者は変更になる可能性があります。

### 【その他注目公演】

- 世界が注目する新星若手ピアニスト、**アリエル・ベック**がLFJ初登場！  
**ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調**は必聴。
- **出口大地**とタッグを組む**シエナ・ウインド・オーケストラ**が贈る、**吹奏楽名曲選**。  
コンサートの最後は、**客席も一緒に演奏**できる「**星条旗よ永遠なれ**」で盛り上がり！
- **ジャン＝フレデリック・ヌーブルジェ**、**神尾真由子**、**横坂源**による  
LFJならではのアンサンブルでお届けする **コルンゴルト：ピアノ三重奏曲**は聴き逃さない。
- **藤木大地&みなとみらいクインテット**が再び登場。名手ぞろいの室内楽コンサートを。
- **ルネ・マルタン**おすすめの**注目アーティスト**を一度に聴ける  
「**ルネ・マルタンのル・ク・ド・クール～ハート直撃コンサート～**」は要チェック！
- 今年も「**0歳からのコンサート**」2公演、  
「**キッズのためのオーケストラコンサート**」1公演を開催  
**聴衆参加型**プログラム「**子どものための音楽アトリエ**」とはしごして楽しもう！
- ジャズフィールドで活躍する注目の若手音楽家、**壺阪健登**がLFJ初登場！
- ブラズ界を代表するスター・プレイヤー、**エリック・ミヤシロ**と**中川英二郎**が今年も  
LFJに参戦！プログラムはお楽しみに！

### 【その他のトピックス】

- 今年も、**地上広場**と**ホールE**の**キオスクステージ**は豊富なラインナップでお届け！  
有料公演アーティストによる、**サプライズ・コンサート**もお楽しみに。
- 今年のテーマを様々な角度から紐解く**講演会**。多彩なゲストによる講演を聞いてみよう。
- 世界で活躍する音楽家たちが若手演奏家を指導する人気のプログラム、**マスタークラス**も！

そのほか、全ての公演プログラムは<2025年2月中旬>発表予定。

お楽しみに！！

